

レジオネラ BCYE 寒天培地*For microbiological control only*

Legioella BCYE agar base

レジオネラの選択分離用

41054	ボトル培地	6本(200ml)
55641	サプリメント	4本(2ml)
55645	アイソレーション	4本(2ml)

貯蔵法

ボトル培地 2-25

添加試薬 2-8

組成(g/l)**レジオネラ BCYE基礎寒天培地**

酵母エキス	10
活性炭	2
ACES 緩衝液 (2-アセトアミド、2-アミノイタソルホン酸)	5
寒天	17
pH6.9	

レジオネラ サプリメント

ピロリン酸鉄	0.25
塩酸システイン	0.4

レジオネラ アイソレーション

バンコマイシン	0.001
コリスチン	45000U

原理

レジオネラ BCYE 基礎寒天培地(Buffer Charcoal Yeast Extract)は *Legionella* の分離に適しています。基礎培地中の活性炭は、発育阻害物質除去剤です。ACES 緩衝液(2-アセトアミド、2-アミノイタソルホン酸)により、培地はレジオネラ菌の生育に至適のpH6.9に保たれます。凍結乾燥品のサプリメントにはピロリン酸鉄やシステイン塩酸塩のような必須発育因子が含まれています。培地の選択性は、*Legionella* と混在しているほとんどの細菌の発育を阻害するアイソレーションを添加することにより保証されます。

培地の調製法

- 乾燥凍結品であるレジオネラ サプリメントのバイアルに2mlの滅菌精製水を加えて溶解します。
- 完全に溶解するまで振盪して下さい。
- あらかじめ沸騰湯浴中で溶解後45-50℃に冷却したレジオネラ BCYE基礎寒天培地200mlに、上記の溶解したレジオネラ サプリメント1バイアルを添加します。
- よく攪拌し、90mmのシャーレに約30mlずつ分注します(12日間培養しても培地が乾燥するのを防ぐため)。

BCYE 寒天培地にレジオネラ アイソレーションを添加する場合も、レジオネラ サプリメントと同様に調製して下さい。

使用法

気管支検体は、経皮気管穿刺、洗浄、肺胞擦過および気管支吸引による採取が望まれます。喀痰、胸膜液も使用できます。検体は選択培地および非選択培地に接種します。CO₂環境下で少なくとも1週間、37℃で培養します。

判定

コロニーは通常3-4日の培養後に観察されます。コロニーの外観はムコイド型、光沢があり灰白色、直径2-3mmです。*Legionella* の鏡顕所見は非常に多形性で、短桿菌、桿菌および長いフィラメント状を示します。グラム陰性、オキシダーゼ弱陽性、カタラーゼ陽性です。同定は免疫学的検査およびクロマトグラフィーで確認することをお勧めします。

参考文献

- BORNSTEIN N., MARMET D. & FLEURETTE J. – "Isolement et caractérisation des trois premières souches de *Legionella pneumophila* isolées en France." – Ann. Microbiol., 1981, **132B**, 405-417.
- EDELSTEIN P. H. – "Comparative study of selective media for isolation of *Legionella pneumophila* from potable water." – J. Clin. Microbiol., 1982, **16(4)**, 697-699.
- FEELEY J. C., GIBSON R. J., GORMAN G. W., LANGFORD N. C., RASHEED K., MACKEL D. C. & BAINE W. B. – "Charcoal-yeast extract agar: Primary isolation medium for *Legionella pneumophila*." – J. Clin. Microbiol., 1979, **10(4)**, 437-441.
- FEELEY J. C., GORMAN G. W. & GIBSON R. J. – "Primary isolation media and methods." – Reprinted from "Legionnaires" the Diseases, the Bacterium and Methodology. – JONES G. L., HEBERT G. A. – May 1979 – CDC Atlanta, Georgia 30333, 78-84.
- FLEURETTE J. & BORNSTEIN N. – "Aspects épidémiologiques et cliniques actuels des legionelloses." – Lyon Médical., 1982, **247(5)**, 205-212.

廃棄処理

起こりうる危険を適切に考慮の上、使用者の責任の元、廃棄産物や流出産物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CSセンター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ピオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)



シスメックス・ピオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号
大崎セントラルタワー8階

bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile / France

Tel. (33) 04 78 87 20 00 / Fax (33) 04 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>